

西部小通信5月② エンタメ



トマト狩り

橘さんのハウスのトマトちぎりを8日（火）に実施させていただきました。ハウス内を荒らすことになるのですが、ふるさと鏡西部地区に誇りをもつことのできる素晴らしい体験活動なので、毎年お言葉に甘えて楽しみにしています。今年は更に、当初2日（水）に予定していたものを、大雨のため延期していたので、子どもたちがちぎりやすいトマトを残すような作業を、二度にわたってしていただいたことになりました。子どもたちは気に入ったトマトをちぎらせていただいた上に、ミニトマトのお土産までいただき大喜びでした。鏡西部小出身を誇れる大人になって、いつの日かふるさとに恩返しをしてほしいと思います。



イチゴ狩り

その2日後10日（木）に、これも恒例にさせていただいている磯本さんのハウスのイチゴ狩りを体験させていただきました。昨年はお目にかからなかったのですが、これまで気付かずに過ごしてしまっていたが、砂原の磯本謙二さんは私が八高の1年2組のときのクラスメイトでした。再会を懐かしみ、思い出話をしている間、子どもたちは今年も遠慮なく、真っ赤で大きな、高価でおいしそうな苺を持ちきれないほど摘んでいました。その上ハウス内は、おとといまでの雨で水がたまっていたので、踏み荒らして、きっとご迷惑をおかけしたのですが、おかげさまで嬉しい楽しい体験をさせていただきました。「西部小の子どもで良かった。」と、ふるさとを誇りに思わせてやれる日になりました。本当にありがとうございました。



潮干狩り

昨年6月『鏡西部小を守る会』の方々のご厚意で企画のうえ、バスまで用意していただいて北新地東区に行き、入漁料も無料で、しかも捕りやすいようにお世話もしていただいた潮干狩りでしたが、また今年も連れて行っていただけるとのことでしたので、それを学校行事の遠足に充て、14日（月）に行ってきました。鏡町漁協の内川さんのお話も聞くことができ、子どもたちにとって楽しくて、ためになる1日でした。ようこそ1年生集会は出発前に実施、1日たっぷりと楽しみました。

